

三喜工業株式会社 (精神障害の方を雇用)

所在地：千葉市中央区今井 1-4-16

事業内容：空調副資材の製造・卸 従業員数：150名

会社の概要

三喜工業は、昭和 39 年に創業して以来、ダクト等空気調和設備における資材の販売を行っています。メーカーとしての機能も備えており、自社工場による定型製品から注文生産まで手掛けています。



「社会の公器として初の障害者雇用に取り組む」

2020年3月に障害者高等技術専門学校などの協力を得ながら委託訓練事業所として登録させて頂き、ふる里学舎（ナカポツセンター）を通じて発達障害者1名を雇用しました。

採用当初より千葉障害者職業センターのジョブコーチ支援事業を活用し、現場で直接支援を受けました。しかしながら初めての障害者雇用ということもあり、障害のある従業員との接し方など苦労する面も少なからずありました。

トライ&エラーを繰り返しながら、発達障害の特性である集中力を活かした作業を担っていただき、一工程特化の体制づくりとマニュアル作成のノウハウを得て、さらなる深化へとつながりました。

また、企業内での勉強会、知識習得・社内研修制度の確立につながり、企業内ジョブコーチへの参加など積極的な取組となりました。さらには2021年より企業内ジョブコーチ設置となる予定です。今後、障害者も健常者と同じようにキャリアアップができる体制の確立も検討し障害者雇用に向けた前向きなプランを立てていきます。

創業60周年に向けて社会の公器として、障害者雇用への取組を進めて参ります。

常務から一言

障害者雇用を通じて、各々の特性に違いがあることを学びました。しかし障害者という大きなカテゴリーで括っていたため、障害特性の細部まで理解が追いつかず悩むこともありました。

しかしながら、障害者雇用のメリットも多数あります。その一例が、文字だけでなく写真・絵等の視覚情報を多用したマニュアル作成の重要性です。誰が見ても理解できるマニュアルは、他の従業員にも活用することができ、ジョブローテーションの構築にも貢献できます。今後は障害特性を理解し、障害者の能力を発揮できる環境を作って参ります。

就職されたAさんから一言

ふる里学舎で就職相談をしたところ、自閉症スペクトラムとの相性が良い作業があるということで、三喜工業を紹介していただきました。

手順が決まっていない作業や自分で処理効率を考えて行動することが苦手ですが、作業手順等のマニュアル通りに動くことは得意なため、今の職場に就職し安定した収入を得ることが出来て良かったです。仕事が始まった後も、ふる里学舎で相談継続できることも安心につながりました。

支援員から一言

Aさんの性格や障害特性にあった仕事を紹介でき、企業のご担当者との話のなかでも障害者雇用への熱意が感じられました。しっかりと定着出来ており喜んでおります。

ハーバーコスメティクス株式会社 (知的障害の方を雇用)

所在地：香取郡多古町水戸 1-78

事業内容：物流業 従業員数：106名

会社の概要

自社の化粧品ブランドを展開するハーバークラスグループ内に於いて、当社は、その物流部門を担っています。

本社を多古町の工業団地に置き、化粧品の保管から個人宛の通信販売、法人向けの百貨店・直営店・セルフ店・問屋等への出荷、また海外への出荷業務を行っています。



上空から会社全景

特別支援学校の実習生受入れから雇用へ

香取就業センター（ナカポツセンター）からの障害者雇用の勧めが最初のきっかけでした。法定雇用率の対象事業所でもある事から香取就業センターのサポートを受け、障害者雇用に取り組みました。最初は特別支援学校生徒の実習生受入れから始めた為、卒業後入社しても違和感なく進める事が出来ました。

当社の業務には細かな手作業が多く、上手く作業を切り出す事ができました。また、パートさんが出荷業務に専念できるよう、商品の箱空けやダンボールの片づけ、出荷品の運搬などを任せ、今となっては、無くてはならない戦力になっています。

～採用に当たって行ったこと・取り組んだこと～

- 既に障害者雇用を行っている企業（特例子会社）の見学
- 香取就業センターによるトライアル雇用・助成金申請などの支援
- ジョブコーチの活用による指導
- 香取就業センターによるフォローアップ支援
- 社内支援グループの立ち上げ
- 作業手順やビジュアルシート（写真など目で見て理解できる作業書）の整備

社長から一言

弊社には、現在2名の障害者が元気に明るく働いております。香取就業センターからの就業と生活についてのサポートをいただき、今では職場での大切な人材として大きな戦力となっております。

これからは、彼らがさらに働きがいと生きがいを感じ、自分の仕事に誇りを持てる職場づくりを心掛け、彼らと共に会社も成長していく姿を思い浮かべております。

就職されたAさんから一言

新しい仕事を覚えられたときにやりがいを感じます。いつもの仕事でも同じ注意をされないように意識して作業をします。

上司から一言

一緒に働いていくうえで特別扱いをしたことはありません。

同じ作業を何度も繰り返すことで得意な仕事を見つけ出すようにしています。

彼らにとって厳しくも相談しやすい関係を築けるよう心がけています。

季美の森ゴルフ倶楽部 (知的障害の方を雇用)

所在地：大網白里市季美の森南 2-49

事業内容：サービス業 (ゴルフ場運営) 従業員数：32 名

事業所の概要

日本全国各地域にゴルフ場・会員制リゾートホテル・スキー場・滞在型ホテルを運営している東急リゾート&ステイ株式会社の一施設であるゴルフ場です。日本初のゴルフ場と住宅が一体化となった複合開発にて平成 5 年 11 月にオープンしました。

お客様の感動がスタッフの喜びであるということ念頭に置き、お客様満足度ナンバーワンのリゾートブランドを目指し、日々接客対応をしています。



就労開始 1 ヶ月後にジョブコーチ支援を検討

元々障害者の方の募集をしていたところ、山武ブリオ (ナカポツセンター) から近隣に住んでいる方が応募の希望を持っているとの話をいただきました。

まずは見学してもらったのち、3日間の実習を行ったところ、「ここならやっていけそう」と前向きな言葉もあり、トライアル雇用にて採用しました。

仕事内容は、清掃やタオル類の補充、ロッカーの点検等を行っていますが、就労開始後 1 ヶ月ほどすると、日々忙しく細かい所まで覚えきれないと本人から不安の声があがりました。また、教えてくれる先輩の一人が近々退職する予定であることも不安材料となったようです。

そうした中で、山武ブリオからジョブコーチ活用の提案がありました。初めての障害者雇用で戸惑っている面もあったため、支援をお願いしました。支援に向けて就労状況や問題点等のヒアリングを受け、その後本人からもヒアリングを実施し、ジョブコーチ支援がスタートしました。3ヶ月の間、ジョブコーチが作業を見守り、また先輩社員の指示の仕方についても改善提案をいただき、現在は順調に勤務しています。

今後の仕事内容についてもジョブコーチを交えて話し合う予定です。

～採用に当たって職場内で取り組んだこと～

- ・業務を覚えてもらうために、話す口調や速度等を配慮すること、出勤時はできる限りフォローしていくことを、毎月行っているミーティングにて同部署スタッフへ協力依頼しました。
- ・わかりやすく覚えてもらうために、作業内容のマニュアルを作成しました。

総支配人から一言

接客業であるため、礼儀正しく挨拶はできるか、言葉使いは丁寧にできるか、様々なことに対し、理解できるのか等、不安はありましたが、どうにか対応できているのかなと思います。

今後も温かい目で見守りながら、行動を注視し、同部署スタッフ他、協力を促していこうと考えております。

就職された A さんから一言

ここに入って良かったことは掃除して気づいたこと。今まで掃除が苦手だったけど、仕事で掃除していくうちに自分のためになってるなって思いました。これからも自分のために勉強したいなと思いました。

上司から一言

担当する仕事はできていると思いますが、単独で行う業務時や急がなければならない時などに戸惑いがあり、不安が残ることがあります。

できる限りのフォローをして、早く一人前になってもらえるよう協力していきたいと思っております。

株式会社ホリキリ (身体障害・知的障害・精神障害の方を雇用)

所在地：八千代市上高野 1827-4

事業内容：輸送用機械器具製造業 従業員数：193名

会社の概要

大型トラックやバスなどのサスペンションを設計、製造、販売している会社です。

主要商品であるスタビリンカは国内シェアを独占。長年培ってきた独自技術に基づいた高性能な製品を提供することにより国内はもとよりアジア、北米など海外のお客様からも高い信頼を頂いています。



(株)ホリキリ 社屋

仕事の切り出し方で複数人の雇用を確保

法定雇用率対象事業所となったため、あかね園（ナカボツセンター）に相談しました。

企業支援員の方に弊社の業務を説明したところ、清掃作業ができる知的障害の方を紹介していただきました。そこで、清掃作業ですでに採用されているスタッフ（精神障害）の能力と仕事内容を見直し、他部署でパートの事務員を募集していた仕事の一部を精神障害の方に切り出していただくことで両者の雇用を確保しました。

～採用に当たって社内で行ったこと～

記憶障害のある方向けに、パート事務員の仕事のうち、毎日繰り返す作業の部分を切り出してもらい、ジョブコーチと一緒に引継ぎを受けながら、マニュアルを作り直すことで処理できるように変更しました。

また、採用した方の障害特性について受入部署にて勉強会を開き、理解を促し適切なナチュラルサポート（職場における上司や同僚等からの障害のあるスタッフへのサポート）が受けられるようにしました。

上司から一言

皆さん自分の役割をしっかりと認識され、ゆっくりながらもコツコツと真面目に業務に取り組んでくれています。

特に今回は初めて知的障害の方の受入れを行いました。対応に悩んだときはあかね園の支援員に相談でき、サポートが必要な時はすぐに来てくれますので安心です。

以前から勤務しているAさんから一言

新しい仲間を迎えることで障害者雇用向けの仕事内容に広がりができ、自分としても新しい仕事内容にチャレンジできる機会をもてうれしいです。

経験してきた仕事内容であればお互いにフォローしあえると思うので、これからも一緒に頑張っていきたいです。

企業支援員から一言

先輩（精神障害者）より新人（知的障害者）への作業引継ぎが、とても上手くいったケースだと思えます。最初の2週間は一緒に作業をし、最終的には新人が独り立ちしました。

障害特性の勉強会開催等の企業努力によりスムーズな受入れをして頂きました。想定外の事象が発生した時は、必要に応じて、あかね園の支援員も相談に加わり、チーム支援に繋がった事は良かったと思えます。

株式会社の場製館所（精神障害の方を雇用）

所在地：松戸市上本郷 158

事業内容：あん類製造業 従業員数：90名

会社の概要

和菓子、パン、菓子に使用される「あん」を製造販売する会社です。

お客様に美味しい「あん」をありがとう、と言われる会社を目指しています。

美味しい「あん」を供給するためには、顧客価値と社員満足度を向上させることを考えています。

企業風土を良くして、「あん作りは人づくり」、あん作りを通して互いに成長することの出来る会社を作ることが目的としております。

「あん作り」を通して地域社会に貢献していきたいと思っております。



障害者と社員が共に成長できる関係を作ること

いつかは、障害者雇用をしたいと常に考えていましたが、ハローワークからは「受入側がちゃんと体制を整えてから」と言われていました。

ビック・ハート松戸（ナカポツセンター）主催で障害者雇用を実際に行っている企業の見学をさせていただいたのち、ビック・ハート松戸からの紹介で1名の職場体験を受け入れ、結果を考えることとしましたが、双方納得となったため、採用に至りました。

仕事の内容は、できるだけ簡単で繰り返し行う作業にしました。

採用当初は、パート職員で構成される館を包装する職場に配置しましたが、「一度に多くのことを言われるとパニックになる」という本人の特性の理解がなかなか行き渡らず、精神的負担が増加していきました。

このため、正社員で構成される館を計量する仕事に変更したところ、自己完結型の仕事で自分のペースで作業ができるため、順調に仕事をする事が出来るようになりました。

今では「一度に多くのことを言わない」ことが社内全体に行き渡っています。

～採用前に当たって行ったこと～

○ハローワーク松戸とビック・ハート松戸が共催で行った障害者雇用企業見学会バスツアーに参加。障害者雇用を行っている企業2社を見学

○求人情報作成にあたり、ビック・ハート松戸の就業支援員と企業支援員とともに、障害者が行う業務について検討

○雇用に向けて、希望される障害者の方の職場見学の受入⇒実習（職場体験）

社長から一言

社員が成長するために、障害者雇用をさせて頂いています。

自社の「あり方」を全社員に理解して頂き、相互の信頼関係を築き「いい会社作り」をしていきたいと思っております。

同僚から一言

最初は表情も硬く緊張している様子での作業でしたが、10月頃からは表情も明るくなり作業も覚えて、仕事が楽しくなっているのかなと感じています。

就職されたAさんから一言

仕事は、辛いけどやりがいがあり楽しい。そろそろ5時まで働きたい。

周りに嫌な人がいないから、気楽で楽しい。毎日仕事があることが幸せです。

医療法人社団圭春会 小張総合病院 (身体障害・精神障害の方を雇用)

所在地：野田市横内 29-1

事業内容：医療業 従業員数：805 名

病院の概要

当院は基本理念として「医療内容の充実と地域に密着した心の医療の実践」を掲げ、東葛北部の中核病院として地元野田市民のみならず、周辺地域の方々から信頼される受診しやすい病院を目指し、24時間365日一次から二次までの救急対応をしております。

本棟外観



その人に合った業務を切り出す

障がい者雇用のきっかけは、法定雇用率対象事業者で、数名足りていないという状況の中で、野田市就労支援事業者「はーとふる」より、精神障がい者で就労希望の方をご紹介いただきました。

職員のメンタルヘルスの観点から、メンタルヘルスサポートチームとして保健師や精神科医療経験のある看護師、精神科就労支援経験のあるスタッフを配置しておりましたので、病状や通院状況等、かなり詳しく面談をし、就労可能と判断した方を3名採用しました。

業務の切り出しについては、単純に欠員がある部署に配置するのではなく、その人に合った仕事を各部署から集めて担当してもらうことで、各部署の業務負担を減らし、かつ、その人に合った業務として新しく業務を作り出す、ということをしています。

～採用に当たって行ったこと・取り組んだこと～

- ・上長からの定期的な面談と日常的な声掛け
- ・配置先職場長に対象者への接し方の指導
- ・課員への対象者への接し方の指導

上司から一言

最初は、比較的簡単な業務をお願いしておりましたが、2年経った今では、前職や今まで身に着けた経験を生かし、様々な業務をしています。体調の上げ下げはあるものの、病識があるので、しっかりコントロールできていますし、体調の悪い時はネガティブなことを考えがちですが、その自覚もあるので回復も早いように思います。責任感が強いので、やりすぎないように注意深く見て変化に気付けるように心掛けております。年齢・経験を生かして、他の障がい者雇用の職員への声掛けもあり、いつも感謝しております。

勤務されているAさんから一言

私は今の職場に雇用されてから2年になります。当初はリズム作りということで4時間勤務でしたが、徐々に増やし、今では7時間労働で働いております。無理をしないようにと2時間に1回の小休憩をいただき、朝早起きなので早出にさせていただいて早く入社し、早く帰宅するといった毎日で体調の維持ができております。また、休日も土日祝とお休みをいただいております、ほぼ残業もありません。職場環境にも恵まれており、体調の悪い時の早退やお休みにも対応していただき、とても働きやすい職場です。強いて要望を言わせていただくと、前職場でも障がい者として働いておりましたが正社員で、今はパート。収入が半分以下になってしまった点が何とかなれば言うことは何もありません。

企業支援員から一言

小張総合病院には、障害者の雇用だけでなく、地域意見交換会への登壇や、障害者委託訓練事業に協力していただくなど、多岐にわたり社会に貢献していただいております。

株式会社幼稚園給食（聴覚障害・知的障害・精神障害の方を雇用）

所在地：船橋市三咲 5-32-21（船橋本社工場） 佐倉市神門 439（佐倉工場）

事業内容：配達飲食サービス業 従業員数：488名

会社の概要

千葉県及び茨城県を中心に約 320 件の幼稚園・こども園・保育園に給食を製造しお届けしています。給食の製造は、千葉県に船橋本社工場と佐倉工場、茨城県に龍ヶ崎工場の3つの工場で行っています。また、佐倉工場敷地内には米飯専用の炊飯工場があり、すべての給食の米飯、おにぎり、いなり寿司などをお子様に適した大きさと製造し、毎朝各工場に届けています。昨年、船橋本社工場では HACCP 認証を取得し、会社全体としてさらに安心・安全な給食を笑顔と共にお届けできるようになりました。



幼稚園給食のイメージ

一緒に働いていく中で、より働きやすい環境をつくっていく

障害者雇用においては、障害者一人一人の特性を活かした作業を選定することにより、障害者用の作業を準備して就労してもらうのではなく、健常者と同一労働、同一賃金を基本として就労できると考えています。まずは、製造業務の工程から一つの工程を選び、2～3時間の短時間勤務から始めることも可能です。その後の状況を見極めながら、就業時間を調整していくことも大切なことと考えています。

最初はできる限り小集団の中で作業一つ一つを丁寧に指導し、しっかりと覚えてもらいながら、近距離でのタイムリーなアドバイスを行い、本人から直接希望や意見を聞き出せるような職場環境づくりを心掛けていきたいと考えています。

～職場内で取り組んだこと～

- 作業現場制服(帽子)の色分け（安全な作業のため、聴覚障害者の作業者が遠目でも確認できるよう）
- 各職場での作業内容をより細かく分解し、得意作業を選択してもらい従業員を配置
- 各職場での従業員に対する連絡事項は朝礼等により伝達するだけでなく文書化して定位置に掲示

就職された A さんから一言

この会社に入ってまだ1年位しか経っていませんが、前の仕事も含めて色々な経験を得たため不安なことはありません。

仕事をスムーズに作業出来るように、耳が聞こえないかわりに目でまわりを見ながら次の行動を把握して心掛けています。

作業指示等、間違いを防ぐため復唱するのも大切なことで気をつけています。

責任者や先輩からの指示を待つだけでなく、出来るだけ自分から積極的に動くことも心掛けています。

特に給食は衛生面に注意する必要があるため、マスク状態で作業するので、口読は難しいですが、健聴者たちは簡単な手話、手話が出来なくてもジェスチャーで伝達方法をして頂いているので、とても理解出来、一緒に楽しく仕事に取り組んでいます。この点は大変嬉しく思っています。

社長から一言

障害者雇用を考える際、障害者の方のために特別に仕事を作るのではなく、実際に働く中で他の従業員と同じ仕事を行い、本当の意味で戦力となっていたいただきたいと思います。また、従業員全員が、一緒に働いていく中で障害者についての理解を深め、より働きやすい環境を作ってまいりたいと思います。

実際に就労した後に、本人の希望を取り入れ作業現場の変更や労働時間の調整を行いました。うまくいくことばかりではありません。作業現場にてコミュニケーションをとりながら、雇用した一人一人が満足して就労できるよう考えていきたいと思っています。

工場長から一言

耳が不自由と言うことで最初はどのようにして指導、指示出しをしたらいいのか悩みました。

しかし本人の仕事に向き合う姿勢（努力）と一緒に仕事をする周囲（従業員）の協力で今は全く問題無く働いております。改めて障害者雇用を考えると職場（従業員）全体でその障害者の方の状態を共有することが出来れば受け入れることは容易なことだと感じております。

日本機材株式会社（身体障害・知的障害の方を雇用）

所在地：茂原市本納字富士見台 3210-14

事業内容：機械部品等製造業 従業員数：70名

会社の概要

約 50 年にわたり粉末冶金法による焼結含油軸受および焼結機械部品の製造・販売に携わっています。私たちの「ものづくり」は「俊敏さ」を一番大事にしております。お客様からのお引き合いには素早い対応と処理を心掛け、常にお客様の求める方向性とニーズを察知し、それに応えるべく最新設備への更新と増設に力を注いでおります。進化し続ける当社の技術力は、各お客様へのお役に立てていると自負しております。



会社と本人と支援者で勤務シフトと通院時間を調整し、採用・勤務継続

当社は法定雇用率対象事業所であり、さらに企業としての社会的責任も考慮して障害者雇用を開始しました。当初はいすみ特別支援学校の生徒（重度知的障害）を実習として受け入れ、卒業とともに採用しました。

その後、長生プリオ（ナカポツセンター）の企業支援員との相談の中で、人工透析を行う重度身体障害者の紹介を受けました。本人は工場勤務の経験があり、24時間稼働の当社工場で夜勤の仕事を希望していました。しかし夜間は少人数での稼働となるため、本人の体調が急変した場合の対応が難しいことから、日中勤務で採用できないかを検討しました。その結果、病院の人工透析のスケジュールを変更するとともに、当社の勤務シフトを柔軟に見直すことにより、採用することが出来ました。現在も人工透析を週3回、1回5時間程度を続けながら、勤務を継続しています。

～採用に当たって社内で行ったこと～

- 工場内の勤務時間の調整（シフトの見直し）
※本人においても通院機関と通院時間を調整
- 産業医による本人の面談
- 障害者の体調不良時の対応方法の徹底

社長から一言

障害者の就労に関する特性は様々で、会社として長く雇用できる人材をいかに見つけるかが重要だと思います。

このためには、支援者からの情報に加えて職場での実習を通じて本人の特性を良く知ることと、本人に適した仕事を切り出すことが欠かせません。さらに、社会貢献としての障害者雇用の意義を社員一人一人に理解してもらうことにより、障害者を受け入れる体制を整えるようにしています。

就職された A さんから一言

人工透析の後、体調が悪くなり、会社を休んでしまうことがあります。いまの会社で嫌な思いはしたことがありません。反対に、人工透析で病院と自宅とを往復していた生活に比べ、「疲れた」と言いながらも会社に通える生活をとてうれしく感じています。

企業支援員から一言

社長が障害者雇用の窓口をしていることが、こちらの会社の最大の特徴です。社長の社会貢献に対する高い意識が、企業全体に浸透しているものと感じます。

ちばみどり農業協同組合（身体障害・精神障害の方を雇用）

所在地：旭市口の 1549 番地の 1

事業内容：農業協同組合 従業員数：552 名

農協の概要

営農・経済・信用・共済事業により農業の発展と地域の豊かな暮らしの実現に貢献します。



採用時は短時間、現在はフルタイム勤務へ

事務量が増加する一方で人手不足であったため、障害者の採用を考え、東総就業センター（ナカポツセンター）に相談しました。東総就業センターから地域の就労移行支援事業所へ情報提供を行ったところ、身体障害の方の紹介があり、職場見学をして職場環境等を双方で確認した上で採用に至りました。

採用した際は短期のパート職員として午後からの4.5時間勤務で様子を見ながら雇用契約を結びました。徐々に勤務にも慣れてきたことから、総務部次長からの提案により現在はフルタイムの勤務となり担当業務も増やしています。

事務補助として、ファイリングやデータ入力、事業所ごとの電話料金の管理、名刺の作成などを行っています。雇用開始時には就職前に通っていた就労移行支援事業所や東総就業センターの担当者にも事務所に来てもらい、本人に合わせた作業環境や業務の切り出し等について話し合いの機会を設けるなどしました。現在、職場として配慮は行っていますが、特に専任の指導者等はつけず、部署全体で本人と関わりサポートしています。

上司から一言

日々、総務部の一員として頑張ってもらっています。業務は電話料の事業所ごとの振替や名刺の作成などを担っています。

処理の正確性は高く、これからも総務部の縁の下の力持ちとして、職場を支えてもらいたいと思っています。

就職された A さんから一言

事務の仕事を探していて、東総就業センターの方に相談したところ、現在の職場を紹介していただきました。支援員の方々や職場の方々に支えていただき、様々な仕事を覚えられています。

これからもできる仕事を増やせるよう頑張りたいと思います。

企業支援員から一言

Aさんは特別支援学校卒業後、就職に向けた訓練を受け、事務職のスキルを身に付け就職をしました。また、最初の就職をしたときにはジョブコーチの支援を受けました。就職してから休日は東総就業センターが開催している「のぞみ会」という当事者会にも参加したり、職場定着促進のための勉強会に参加をしています。東総就業センターのスタッフとも仕事の話や生活の相談をしながら働き続けることができます。

日本環境開発株式会社 (知的障害の方を雇用)

所在地：千葉市稲毛区山王町 423-17

事業内容：サービス業 (清掃業) 従業員数：52 名

会社の概要

主に関東一円を中心とした産業廃棄物の収集運搬、また全国で環境関連法令のコンサルティングを行っており、排出事業者の廃棄物処理における課題解決及び企業責任を強力にバックアップしてまいりました。障害者雇用については、法定雇用率を超えて積極的に進めていきたいと思っています。



ナカポツセンターと一緒に障害者雇用のイメージづくり

障害者雇用に向けて動き始めた頃、千葉障害者キャリアセンター（ナカポツセンター）の存在を知り相談させて頂きました。千葉障害者キャリアセンターから雇用に向けて必要な準備や進め方について丁寧に説明いただき、障害者雇用が具体的にイメージできるようになりました。

社内で検討した結果、伝票の打ち込みや発送業務といった総務の仕事を選びました。その後、たまたま千葉障害者キャリアセンターからPCが得意だという方をご紹介頂き、トライアル雇用からスタートしました。

～採用に当たって行ったこと～

コミュニケーションが不得意とのことでしたので、毎日日誌を交換することを千葉障害者キャリアセンターからご提案頂きました。仕事の悩みや気になること、日常のささいな出来事についてやり取りしていくうちに、本人の考え方や傾向がわかるようになりました。仕事に熱中しすぎて時間の感覚がなくなったり、疲れてしまうとの相談もあり、1時間おきにタイマーをセットして5分ごとの休憩をはさむようにしています。また、その日の仕事予定をホワイトボードに書いて誰が見てもわかるようにしています。伝票処理についても色別のファイルを作成して、言葉で説明しなくても周りや本人が一目でわかるように工夫しました。

社長から一言

障害者雇用率制度に該当する以前から障害者雇用を進めたい意思はありましたが、他の従業員への影響を考慮すると積極的にはなれませんでした。現在では千葉障害者キャリアセンターの支援、サポート担当社員の協力、また何より本人の努力により一人前の立派な社員です。

今後は社風、社員、仕事との相性もあるかと思いますが、雇用率制度の義務を超えての採用を検討しているところです。

上司から一言

旅行に行かれた時は、会社のみみなにお土産を買ってきたり、私事でお休みした時でも夕方様子を会社に連絡くれたりと、自らコミュニケーションをとうとうと努力しているのが良くわかります。仕事で注意した時もきちんとメモを取って改善しようとする姿勢もあり、素直で一生懸命です。

たまに注意することもあります。仕事も丁寧で、もう立派な総務の一員ですので、自信をもって仕事に臨んで頂きたいと思います。

就職されたAさんから一言

以前の職場は都内で、毎日のように満員電車だったため、正直かなり大変でストレスがありました。今の職場に変わってからはそのようなことがなく仕事も問題なく取り組んでいます。

以前は問題が起きて自分一人で解決していましたが、今の職場に入ってから、相談もできるようになったのが大きな成長かなと思います。家からも近くなったので今後もわからないことはジョブコーチや職場に相談して丁寧に仕事することを心掛けたいと思います。

職場の環境も以前よりだいぶ慣れてきたので、誰とでも仲良くすることをモットーに頑張っています。